

第3回 保育のお仕事ステップアップ講座

10:00~12:00

「幼児安全法講習」日本赤十字社栃木県支部 講習指導員 阿久津 博子先生

13:00~15:00

「幼児音楽講座」 つながりあそび・うた研究所 まっちゃん先生こと、町田浩志氏

「幼児安全法講習」

日本赤十字社栃木県支部 講習指導員 阿久津 博子 氏



6~7名で4つのグループを作り、室内・ショッピングセンター・公園・保育室と担当場所を決め、危険箇所を付箋に書き出すワークショップを行い、日常に潜む危険箇所を把握しました。その後、乳児、幼児の人形使用し、AEDがある場合とない場合の除細動、誤飲の際の対処法など、救急措置を2人1組で行いました。乳児、幼児とはいえ強い力が必要で、緊急時に対応する場合の協力者が必要であったり、冷静に対処することの難しさを感じ取った様子が窺えました。講師の先生からは、「予防に勝るものはないですが、もしもの緊急時には、ここで学んだ事を勇気をもって活かしてほしい。」と話されていました。



《参加者の声》

- 心肺蘇生、AEDの使い方など改めて確認し、年齢に合わせた使い分けを知ることができて良かったです。
- 実際に心臓マッサージをして、思ったより力を使うことが分かりました。
- 丁寧に分かりやすく説明していただけた。復習する良い機会になった。
- AEDを実際に使ってみたことでイメージが湧きました。• 忘れていたことをもう一度再確認できたので、いざという時に活用できるといいと思いました。
- 100~120回/分は意外とゆっくりで、速くなりすぎないように気を付けようと思いました。
- 心肺蘇生の重要性を改めて知ることができました。
- 子どもの命を守る大切なことをたくさん教えていただきました。
- AEDを触ったことがなかったので、講習で実際に使う経験ができて良かった。
- 子どもに限らず急病人を見かけたら、勇気をもって対応したいです。
- 実際に体験することで覚えやすく、実際に使う時も勇気を持てると感じた。
- 自分が参加しないとわからないこともたくさん学べて有意義な時間でした。



「幼児音楽講座」

つながりあそび・うた研究所

まっちゃん先生こと、町田浩志 氏



参加者の皆さんで円座になり、ギターに合わせて「ドレミの歌」を歌いました。歌に振りを付けて歌ったり、替え歌を作ったり、歌あそびを楽しみました。二人組になったリズムあそびは楽しく、だんだんと難しくなり、脳トレのようでした。二人組あそびを楽しんだ後は、みんなで遊んでみよう！じゃんけん列車を楽しみました。どんどん列が長くなり、みんなで遊ぶ楽しさ、つながる楽しさを体感しました。

「コロナ禍で失われたものを子どもたちに再び経験させてあげようよ！」「子育ては文化です。人から人へ伝えていこうよ。あたりまえと思うことも、あたり前じゃないんだよ。」と熱いトークをされる場面もあり、会場は時にはじ〜んと……。終始、パワフルな先生の講座は、常に笑いとお熱に包まれていました。



《参加者の声》

- ・色々と考えさせられる内容でした。自分から動いてみようと思います。
- ・現場になると、なかなかインプットの時間がないので、とても勉強になりました。
- ・「保育は文化です」その通りと感動しました。
- ・歌を歌ったり聞いたり、体験しながら楽しく学べました。
- ・チームワークの大切さを感じました。とても楽しかったです。
- ・自分自身が楽しみ、遊びの工夫をすることが大切だと感じました。
- ・「学ぶ→真似る」その通りだと思いました。
- ・とても納得いく話が聞けました。
- ・普段は”保育園での日課として”朝の体操・音楽“を取り入れていましたが、何を伝えたいかを考えることも大切だと学ぶことができました。
- ・自分の楽しい気持ちを、子ども達に伝えるということを学べて良かったです。
- ・手遊びでは、体を使う、頭を使うという部分は抜けがちで、ハッとさせられました。
- ・リトミックとは違って、簡単で発展性のある遊びが楽しかったです。
- ・ドレミの歌を発表会で歌ったばかりなので、替え歌にチャレンジしてみたいです。
- ・先生の素晴らしいお話と、楽しい遊び歌で充実した時間でした。
- ・1対1では恥ずかしさもありましたが、仲間が増えることを楽しめました。

